



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日  
東

上場会社名 株式会社メタルアート 上場取引所  
 コード番号 5644 URL <http://www.metalart.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 多田 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 安居 弘 (TEL) 077-563-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,074	△5.7	1,022	△42.0	1,549	△12.0	912	△14.7
26年3月期第3四半期	20,233	4.3	1,764	48.7	1,759	42.2	1,069	43.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 909百万円(△11.9%) 26年3月期第3四半期 1,032百万円(37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	57.89	—
26年3月期第3四半期	67.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	25,103	12,180	47.2
26年3月期	24,689	11,448	44.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,844百万円 26年3月期 11,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△6.4	1,770	△20.0	1,790	△18.6	1,100	△20.5	69.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,786,910株	26年3月期	15,786,910株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	25,800株	26年3月期	24,445株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,761,656株	26年3月期3Q	15,763,797株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により円安・株価上昇が進み緩やかな景気回復が見られるものの、消費税増税後の個人消費の回復遅れが企業業績に影響し、経済成長の停滞も予想されています。また、世界経済も米国経済の緩やかな回復が見られる一方、新興国の成長鈍化など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、主力の自動車部門では、国内は消費税増税落込みからの回復が遅れ、需要が減少しています。一方、海外は政情不安のタイが引き続き低迷し、インドネシアも燃料補助金の減額、資源相場低迷、ルピア安等による経済成長の鈍化により自動車販売は、やや減少局面に入っています。さらに、LCGC (Low Cost Green Car) 対応車導入に伴う競争激化も加わり、当社主力ユーザーの販売は減少しました。

建設機器部門においても、国内は当社主力商品の20ton油圧ショベルが、排ガス規制前駆込み需要の反動減で大幅に減少したまま推移し、海外では中国・東南アジア・豪州各国において資源価格下落による鉱山機械の低迷が続き、回復には至っていません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は190億7千4百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。部門別では、自動車部品は135億8千8百万円（前年同四半期比2.4%減）、建設機械部品は46億6千2百万円（前年同四半期比15.3%減）、農業機械部品は4億2千7百万円（前年同四半期比12.8%減）、その他部品は3億9千6百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。

損益面におきましては、売上の減少、PT.METALART ASTRA INDONESIA（インドネシア子会社）の立上げに伴う生産準備費用の影響が大きく、グループ挙げての原価低減活動に努めたものの、営業利益は10億2千2百万円（前年同四半期比42.0%減）、経常利益は15億4千9百万円（前年同四半期比12.0%減）、四半期純利益は9億1千2百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億1千4百万円増加し、251億3百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、現金及び預金が22億8千7百万円減少、電子記録債権が3億7千8百万円増加、たな卸資産が5億7千6百万円増加、未収入金が4億9千1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億8千2百万円減少し、127億3千1百万円となり、また固定資産は、PT.METALART ASTRA INDONESIAでの設備投資等により前連結会計年度末に比べ11億9千6百万円増加し、123億7千2百万円となりました。

負債の部では、流動負債は、買掛金が2億1百万円減少、未払法人税等が1億9千9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億6千万円減少し、120億3千1百万円となり、固定負債は、退職給付に係る負債が6千2百万円増加、資産除去債務が1千7百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ4千2百万円増加し、8億9千1百万円となりました。

純資産は、四半期純利益9億1千2百万円計上による増加、剰余金の配当による1億4千1百万円の減少、少数株主持分が1億4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億3千1百万円増加し、121億8千万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月25日に公表いたしました数値に変更はございません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が54,722千円増加し、利益剰余金が35,340千円減少しています。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,819千円減少しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,990,819	1,703,056
受取手形及び売掛金	3,416,482	3,310,991
電子記録債権	2,976,617	3,355,536
製品	225,311	279,432
仕掛品	1,037,969	1,319,174
原材料及び貯蔵品	1,258,664	1,500,036
未収入金	273,108	764,207
その他	334,673	498,917
流動資産合計	13,513,646	12,731,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,185,115	2,873,200
機械装置及び運搬具(純額)	3,252,782	2,950,544
土地	2,588,278	2,623,322
建設仮勘定	2,222,755	2,902,807
その他(純額)	295,812	310,690
有形固定資産合計	10,544,745	11,660,565
無形固定資産	63,021	48,879
投資その他の資産		
投資有価証券	368,327	456,491
その他	205,474	214,833
貸倒引当金	△6,080	△8,630
投資その他の資産合計	567,721	662,695
固定資産合計	11,175,488	12,372,140
資産合計	24,689,134	25,103,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,795,670	6,593,781
短期借入金	3,272,000	3,272,000
未払法人税等	571,662	372,377
賞与引当金	307,865	171,355
役員賞与引当金	20,000	15,750
その他	1,424,268	1,606,095
流動負債合計	12,391,466	12,031,360
固定負債		
長期借入金	392,000	344,000
役員退職慰労引当金	65,900	81,520
退職給付に係る負債	160,254	222,965
資産除去債務	57,415	40,282
その他	173,518	203,150
固定負債合計	849,089	891,918
負債合計	13,240,555	12,923,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,143,486	2,143,486
資本剰余金	1,641,063	1,641,063
利益剰余金	7,047,884	7,783,110
自己株式	△7,626	△8,150
株主資本合計	10,824,807	11,559,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,440	194,989
為替換算調整勘定	△18,098	31,460
退職給付に係る調整累計額	61,465	58,904
その他の包括利益累計額合計	183,807	285,353
少数株主持分	439,963	335,349
純資産合計	11,448,578	12,180,213
負債純資産合計	24,689,134	25,103,493

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	20,233,135	19,074,610
売上原価	17,381,808	16,669,288
売上総利益	2,851,326	2,405,322
販売費及び一般管理費	1,087,288	1,382,340
営業利益	1,764,038	1,022,982
営業外収益		
受取利息	397	3,668
受取配当金	5,786	8,307
為替差益	-	487,743
受取ロイヤリティー	12,946	8,479
その他	41,234	39,318
営業外収益合計	60,363	547,518
営業外費用		
支払利息	13,547	12,953
為替差損	42,021	-
その他	9,344	8,508
営業外費用合計	64,914	21,462
経常利益	1,759,487	1,549,038
特別損失		
固定資産処分損	14,700	6,117
子会社株式売却損	6,156	-
特別損失合計	20,856	6,117
税金等調整前四半期純利益	1,738,631	1,542,920
法人税等	669,522	756,344
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069,108	786,576
少数株主利益	-	△125,853
四半期純利益	1,069,108	912,429

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069,108	786,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,900	54,549
為替換算調整勘定	△75,840	70,797
退職給付に係る調整額	-	△2,561
その他の包括利益合計	△36,939	122,785
四半期包括利益	1,032,168	909,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,032,168	1,013,975
少数株主に係る四半期包括利益	-	△104,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成 25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。